



東京大学グローバルCOEプログラム

ゲノム情報に基づく先端医療の教育研究拠点

オーダーメイド医療の実現と感染症克服を目指して

GCOE 特別セミナー
＜キャリアパス支援セミナー＞
企業・団体紹介シリーズ

白金キャリア

第7回

プラットフォーム



2011年 10月21日 (金)

15:00 - 17:15

東京大学医科学研究所 1号館講堂

参加無料・事前登録不要

■ ショートレクチャー

「自分でできるメンタルヘルスケア」

大島 紀人 東京大学学生相談ネットワーク本部精神保健支援室
講師

■ 「開発競争の国際化と若手研究者への期待」



今村 恭子 ヤンセンファーマ株式会社 (ジョンソンエンドジョンソングループ)
サイエンティフィック・リレーションズ・オフィサー
日本製薬医学会 理事長

ファシリテーター： 三浦 有紀子 東京大学男女共同参画室 推進ディレクター

山川 彰夫 東京大学医科学研究所 学術アドバイザー長 特任教授

東京大学医科学研究所&先端科学技術研究センターGCOE <http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/gcoe/index.html>

問い合わせ先：東京大学医科学研究所GCOE推進室 Email: gcoe@ims.u-tokyo.ac.jp TEL: 03-6409-2028

東京都港区白金台4-6-1 (東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線白金台駅2番出口から徒歩3分)

【概 要】

東京大学医科学研究所&先端科学技術研究センターのグローバルCOE プログラム (GCOE) では、ミッションの一つであるグローバルな医療課題に対して取り組むことのできる世界的な広い視野を持った多様な「人財」育成の一環として、キャリアパス支援セミナー「白金キャリアプラットフォーム：(企業・団体紹介シリーズ)」を開催しています。

今回の第7回では、ヤンセンファーマ株式会社 サイエンティフィック・リレーションズ・オフィサーの今村恭子先生より、ヤンセンファーマの研究開発の方向性に加え、「Our Credo (我が信条)」の精神の元に全体として世界最大のトータルヘルスケアカンパニーでありながら「分権経営」の考え方に基づき、グループ企業を「子会社でなくファミリー企業として各社が主体的な事業運営を進める」ジョンソンエンドジョンソングループについてご講演頂きます。今村先生は東京慈恵会医科大学にて医学博士号(臨床薬理)取得、整形外科臨床医として従事、英国ロンドン大学でPh. D. (Outcomes research)を取得後、ヤンセンファーマ株式会社に入社され、現在は日本製薬医学会の理事長もされておられます。

ヤンセンファーマは、メジャーランキライザーのひとつハロペリドールを開発した薬理学者であるベルギーのポール・ヤンセン博士により1953年に創業されました。ヤンセン博士は「プログレス・スルー・リサーチ(進化は常に研究の中から生まれる)」という開発ポリシーのもとに、10万以上の新規化合物を合成し、その中から麻酔、疼痛管理、精神医学、真菌症、消化器をはじめ、幅広い分野に渡る84を越える優れた新薬を世に送り出しました。そのlegacyと「病に苦しむ患者さんのために優れた新薬をひとつでも多く生み出そうとする、妥協なき開発精神と飽くなき追求心」を受け継いだヤンセンファーマは、現在、ジョンソンエンドジョンソングループの医薬品部門一員として、中枢神経系領域(抗うつ薬、向精神薬、認知症薬など)、がん緩和・鎮痛・麻酔領域、抗真菌薬、抗HIV薬、抗悪性腫瘍薬などの研究・開発・販売を行っています。

ジョンソンエンドジョンソングループは、1886年に「手術や創傷管理のためには、滅菌済みの縫合糸・包帯を使うべきである」と言う当時としては革新的なアイデアを実際の臨床現場に製品として届けるという事から創業されました。その製品群は多くの患者の命を救って来ましたが、バンドエイド、ベビーパウダー、衛生ナプキン、おむつなど日常的になじみのものも沢山あります。アメリカに本社をおきながら、欧州や多くの国にM and Aを進めながら進出し、使い捨てコンタクトレンズ、スキンケア製品、また薬品としては、鎮痛剤タイレノールやヤンセンファーマの製品、最初のモノクローナル抗体製剤 OKT3や最初の避妊ピルORTHO-NOVUMR、抗がん剤インフリキシマブなど多彩な製品を世に送り出し続けています。

ご講演内容はヤンセンファーマとジョンソンエンドジョンソングループのご紹介の他、ご体験に裏付けられたお話や現在理事長をされている日本製薬医学会のお立場からの提言や、学生、若手研究者へのメッセージも含めてお願いしています。

また、恒例のキャリアパスに関する基礎的なリテラシーに資するショートレクチャーとして、今回は精神科医で白金キャンパスの「なんでも相談室」にも定期的にお出で頂いている、東京大学学生相談ネットワーク本部精神保健支援室講師の大島紀人先生にメンタルヘルスと「心理的レジリエンス(回復力)」をテーマにお話いただく事に致しました。東京大学や日本の企業等におけるメンタルヘルス維持や支援体制についてもお話いただける事を期待しています。アカデミア・インダストリー・ガバメントなどのセクターや研究職・その他の職種にかかわらず、キャリアパス・ライフパスにはアップダウンはつきものです。今後の経済社会状況や日本社会のグローバル化からは、個人としても組織やコミュニティとしても、メンタルヘルス維持に関するリテラシーを持ちながら、複数のセーフティネットを構築する事が必須でしょう。

将来、アカデミアや別の業界・企業に進む人財にとっても、業界のリーディングカンパニー等についての知識を持つことは、将来の効果的な連携(場合によっては効果的な競争)等にとっては欠かせないことであり、このシリーズはいわば「究極の就活セミナー」といえますが、あくまでもキャリアデベロップメントを目的としています。

この白金キャンパスの「新しいプラットフォーム」は、”Filling the Gaps among different Communities”のキーワードの元、学生・若手にとってのキャリアパス支援とシニアの研究者・医療従事者と企業・団体の間の相互のインターアクションの「場」を提供し、ライフイノベーションの推進の為のステップボードとなる事も意図しております。白金キャンパスの学生、若手をはじめとする研究者、医師、医療スタッフの他、学内他部局や学外のアカデミア・産業界・行政・メディア等の機関にご所属の学生、社会人など、多様な方々のご参加を歓迎致します。事前の質問要望があれば世話人宛にお願い致します。